



19 雲監第76号  
平成19年4月17日

国土交通省  
道路局長 宮田 年耕 様

雲仙市長 奥 村 慎太郎



中期的な計画作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のありました標記の件につき  
ましては、別紙のとおり提出します。

## 今後の道路政策や道路の整備・管理について（意見）

### ○ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

- ・ 交通ネットワーク作りが急務

企業、工業立地にかかせない高速道路、地域高規格道路の整備を図ることで物流全体の効率化を高める。また、安全かつ快適に往来できる交通体系の整備が必要であります。

すなわち道路ネットワークを踏まえた道路整備計画の策定を行ない全域が均衡のとれた発展を遂げなければなりません。

- ・ 交通拠点の整備及び公共交通網の充実

市民の重要な公共交通機関である鉄道・路線バスの効率的な連絡を図るための交通ターミナル等の整備・地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路はさまざまな交通機関を支える基盤であります。

### ○ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・ 事業の整備の効果を数字データなどで客観的に検証するなどのチェックが必要となります。

- ・ 新技術の開発、新たな技術を活用した計画や工程の見直しなどコストを減らす努力が必要であります。

- ・ PIをいっそう充実する。

道路施策への提言など、市民団体などとの「対話と協働」を取り入れた道路政策を進める必要があります。

○その他 道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

- ・緊急輸送道路などの重点的な整備を実施し、災害発生時の危機管理体制の確立を図る必要があります。
- ・渋滞交差点の解消を図り、CO<sub>2</sub>の削減へ向けた施策を展開する必要があります。